

第21回女子栄養大学栄養科学研究所講演会

放射線防護食品 と放射能除去法

放射線防護食と遺伝子

女子栄養大学栄養科学研究所 所長 香川靖雄

野菜を食べて、毎日元気！

カゴメ株式会社総合研究所 主席研究員 稲熊隆博

食品中の放射能汚染による内部被ばくと健康影響

自治医科大学RIセンター 管理主任 菊地透

2011.11.19

女子栄養大学駒込校舎小講堂

第21回女子栄養大学栄養科学研究所講演会

テーマ：放射線防護食品と放射能除去法

日時：平成23年11月19日（土） 午後1時～4時45分

会場：女子栄養大学駒込校舎小講堂

座長：女子栄養大学栄養クリニック 所長 田中 明

司会進行：女子栄養大学栄養科学研究所 専任講師 香川雅春

1:00 - 1:05◇開会の挨拶◇

……………女子栄養大学 学長 香川芳子

1:05 - 2:05■放射線防護食と遺伝子

……………女子栄養大学栄養科学研究所 所長 香川靖雄

2:05 - 3:05■野菜を食べて、毎日元気！

……………カゴメ株式会社総合研究所 主席研究員 稲熊隆博

3:05 - 3:20 休口憩

3:20 - 4:20■食品中の放射能汚染による内部被ばくと健康影響

……………自治医科大学RIセンター 管理主任 菊地透

4:20 - 4:40□質疑応答

4:40 - 4:45 ◇閉会の挨拶◇香川靖雄

栄養科学研究所
講演会

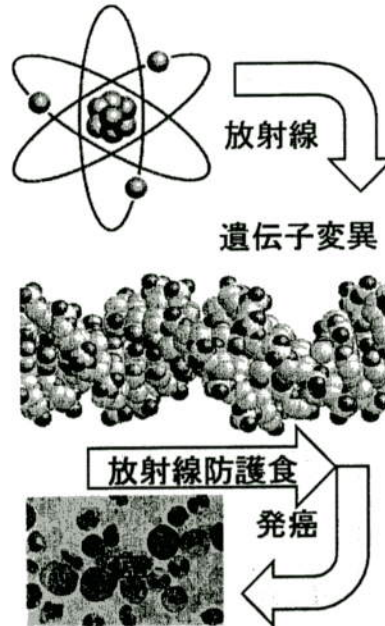
放射線防護食

「放射線防護食と遺伝子」

2011年11月19日

所長 香川靖雄

放射能の安全性の討議
は必ずICRP勧告の国際
的合意に基づいて行う
国民に希望を！

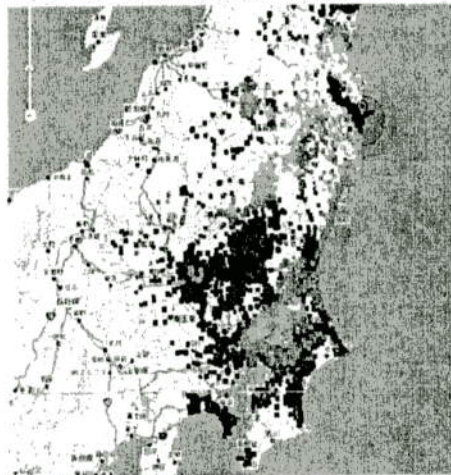


ホットスポットとは局
地的に放射線量が
高くなっている場所

なぜ神奈川のお茶に

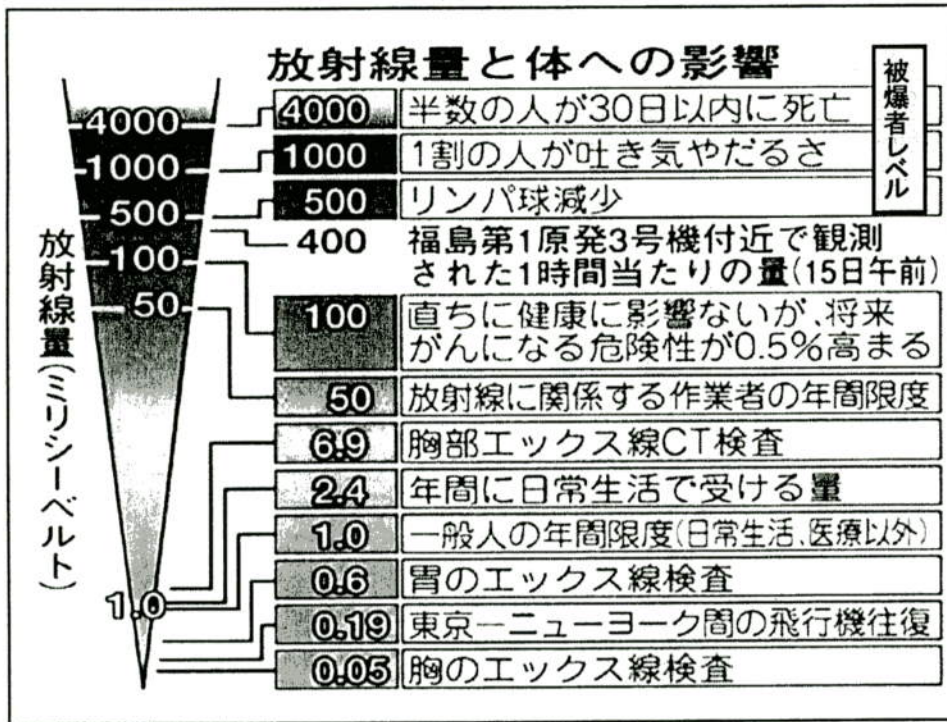
風向や、雨、地形の影響で、
福島県のみならず、関東地
方の広範囲(東京都、千葉
県、茨城県、埼玉県、神奈
川県、群馬県、栃木県)に
点在している

緊急時迅速放射能影響予測ネットワーク
システム(SPEEDI)のデータ利用を怠る。そ
のため北西部の被曝、ヨウ素服用逸機



緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)のデータ利用を怠る。そのため北西部の被曝、ヨウ素服用逸機

400-01 411-02 421-03 431-04 441-05 451-06 461-07 471-08 481-09 491-10
101-1 111-2 121-3 131-4 141-5 151-6 161-7 171-8 181-9 191-10

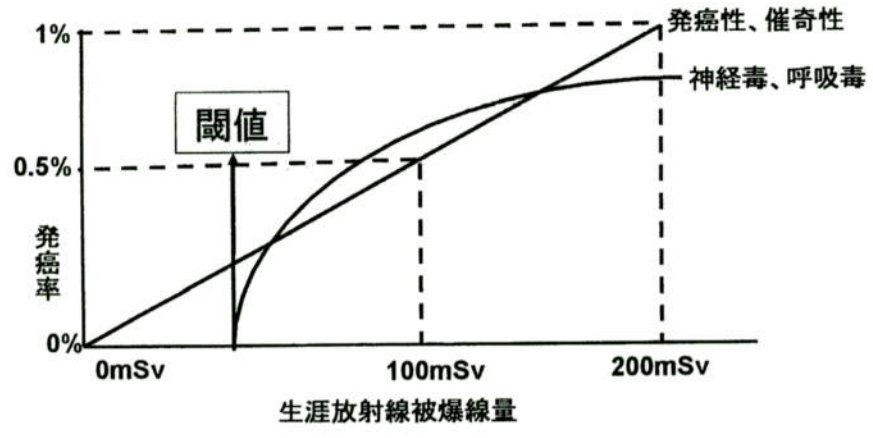


低線量放射線の人体影響については、100mSv以下では健康影響はないのだとわかりやすく説明する専門家もいるが、実際には100mSv以下は現状のリスクは不確かさが大きくて、リスクそのものを正確に推定することができない。ICRPでは放射線から人を守る、つまり防護するためには、閾値なしのモデル、つまり被ばく量はゼロmSvになるまでそれに相応したリスクがあるという直線型に立って評価をし、放射線防護の目標を定める。どこまでなら社会的に容認できるのか、容認できるレベルを、状況に応じて、決めている。

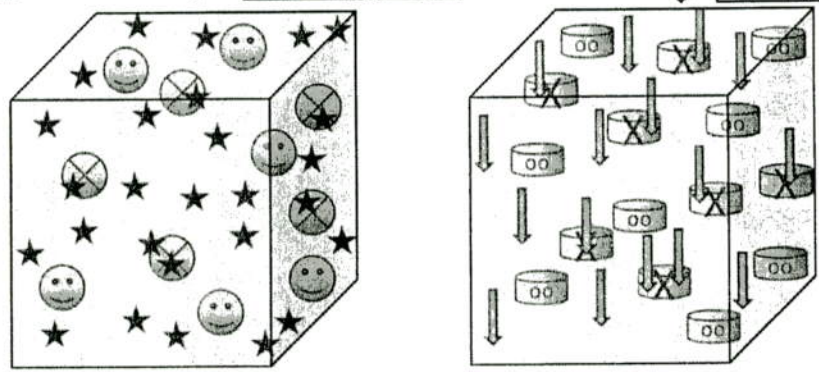
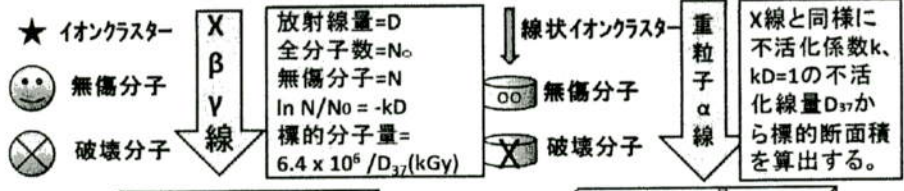
ICRP
Publication 103

放射線障害には微量でも閾値はない。
 100mSv以下は疫学的に不明とされるが、分子生物学的には比例的障害

遺伝子の塩基に確率的に作用するので摂取量に比例



放射線照射による標的分子量と標的断面積の測定



標的分子量実測例: Kagawa Y. Biochim. Biophys. Acta, 131, 586-588 (1967)

